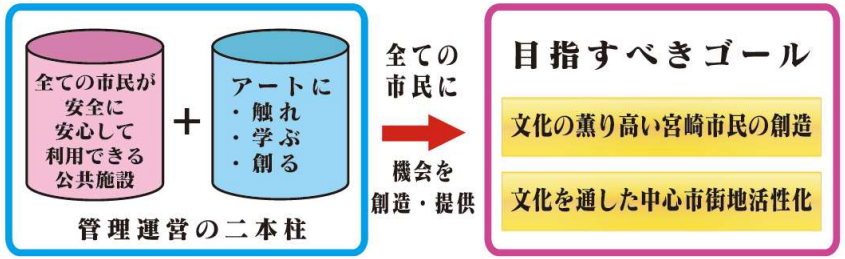
みやざきアートセンター事業計画書 2023 ～ 2027　概要版①　申請団体：みやざき文化村

管理運営にあたっての基本方針



文化芸術事業（主催事業）の提案

- ■ 子どもを核とした家族向けで楽しめる主催事業
- ■ 高齢者層が楽しめる芸術文化事業
- ■ 宮崎ではなかなか鑑賞する機会が少ない新進気鋭作家等の企画展

※ 上記のテーマに沿う、 又は複数のテーマを兼ねる主催事業を開催します。

※ コロナが終息するまでは担当課と協議のうえ、 ローリスク ・ ローリターンの企画を優先します。

※令和 6 年度宮崎市制 100 周年には、5年間の予算をうまく配分、集約させ記念事業として企画。コロナの終息状況に合わせ効果的な運用にあたります。

平等な利用の確保のために

- ●IT とアナログを併用した申込みを検討します。
- ●子育て世代、 高齢者層をメインに障がいの有無やジェンダー、 国籍の違いに関わらず対応が可能なスタッフのスキルアップを行います。
- ●貸出可能期間の明確化と早期の告知を行います。

利用者サービス向上に関する提案

- ●ウェブ等での入場整理券の配布を適宜実施します。
- ●単独で自主事業を行う場合、 宮崎市内の小学生以下の子どもたちは原則 【入場無料】 にいたします。
- ●音声及び文字情報による館内案内、 展示案内のシステム導入を検討します。

利用者の増加を図るための提案

- ●ホームページ、 SNS 等での情報発信、 利用者の意見を集約します。
- ●外部資金を積極的に活用します。

令和 2 ～ 4 年度 JAPAN LIVE YELL project の実績

- ●宮崎市美術展での招待券の作成、 配布及び出展ジャンルを見直します。

みやざきアートセンター事業計画書 2023 ～ 2027　概要版②　申請団体：みやざき文化村

文化芸術事業 （定期講座） の提案

- コロナ禍の影響で令和２年～４年で微減。
- コロナ終息の見通しが見えるまでは現状維持。

※コロナ禍の影響にて、 閉館する可能性がゼロではないのが現状。
月謝を事前に徴収することで、 払い戻し等のトラブルに繋がるため、
毎回受講時に１回分の受講料を徴収しています。

その他の企画

●きせつのコンサート、 絵本の読み聞かせ、 ワークショップ等を定期的に開催します。 （月４回程度）
●動画配信用の簡易スタジオの設置を検討します。
●市民のニーズに対応した環境整備に取り組みます。

地域や他施設 ・ 商店街等との協力 ・ 連携

●自主事業として取り組む 「まちんなかフラワーパーク」 「みやざき国際ストリート音楽祭」 「JAPAN LIVE YELL project」 「生頼範義賞」 「ストリートピアノ」 等を地域団体と共催し、まちなかの活性化の一つとして取り組みます。
●中 ・ 高 ・ 大学生の職場体験の受け入れを積極的に行います。
●Do まん中モール委員会等、 商店街と連携。 自主事業の内容に合わせた企画を積極的に展開します。

人材の発掘 ・ 育成についての提案

●『えほんのせかい』 『おとバンク』 などボランティアによる企画を定期的に実施します。
●市民活動センターと連携しボランティアの発掘 ・ 育成 ・ 登録に務めます。
●地元作家の作品展開催 （グループ展、 個展等）

指定管理料に対する提案額

（単位 ： 千円）

年　　度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
指定管理料	90,000	105,000	93.000	95.000	97,739

●令和６年度の宮崎市政 100 周年記念の年に指定管理料を重点的に活用。 令和７年度以降、 人件費や物価の高騰を考慮し微増させていく計画を提案します。

利用料金の設定に関する提案

●利用料金の設定に関しては、 令和５年当初は現状維持で対応したいと考えます。

●社会情勢の変化によって物価の高騰などの事由により料金を変更する場合は担当課と早めの協議のうえ変更します。

適切な管理運営のための業務実施体制

●正職員による責任ある運営と、 パート、 アルバイト、ボランティアにより十分なサポート体制を整備します。

●学芸 ・ 総務 ・ 設備の３つの課で役割を分担します。

●企画展に関しては課をまたいでの必要なチームを都度編成します。

●各スタッフの給与体系 （平均額　単位 ： 千円）

職　　種	正社員	パート	アルバイト
年額平均給与	2,861	1,070	853 円／時

職員の能力育成のための研修

●利用者とのコミュニケーション力を高める研修。

●美術展示等、 スキルアップのための定期的な研修の実施。

●SDGs、 ジェンダー、 ワークライフ、 バランス等専門知識を高めるための研修。

業務の効率化と経費縮減の考え方

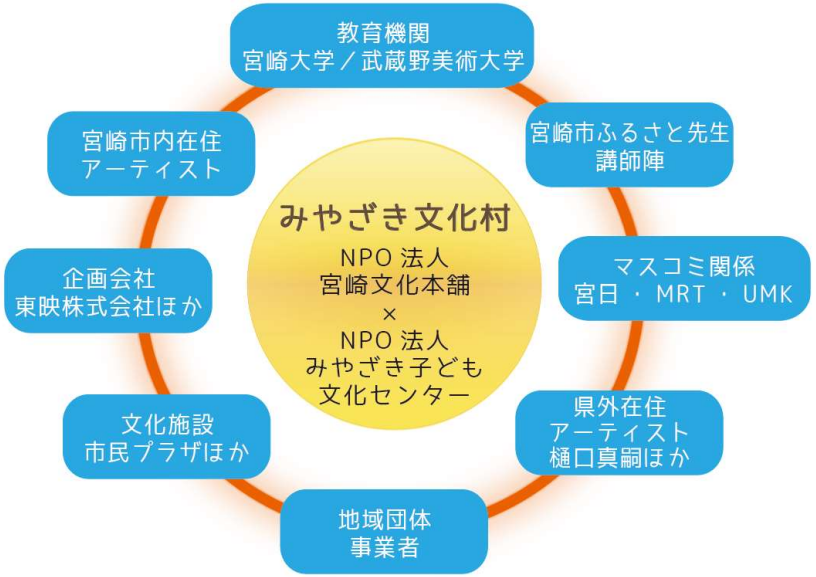
●職員一人ひとりが、 施設のミッションを理解することが重要だと考えています。

●代表構成者ＮＰＯ法人宮崎文化本舗による労務管理と、資材の一括購入により経費を圧縮します。

●節電、 省資源によりコスト削減を徹底します。

地域や関係機関との連携

主な連携先



市との連携について

●指定管理者として 「宮崎市文化芸術基本条例」 の基本理念に則った管理運営の推進を図ります。
●年度ごとの事業計画や、 主催事業の内容を担当課と協議を深めたうえで決定していきます。
●どんな些細な事故、 クレームに関しても市への報告を怠ることなく、 即時対応策を決定、 実行しています。

地域や利用者のニーズ把握

●アンケート調査によるニーズの把握を行います。
●定期的なヒアリングの実施によるニーズ把握を行います。
●第三者による 「運営評価委員会」 を設置し、 事業計画及び事業の進捗状況等に客観的な意見を頂き、管理運営に反映させます。

申請者の安定性 ・ 信頼性

●代表構成者ＮＰＯ法人宮崎文化本舗は 2021 年度決算で事業高 3.2 億円、 構成者ＮＰＯ法人みやざき子ども文化センターは同年事業費 1.8 億円です。
●両団体とも設立から 20 年以上安定した財政基盤を構築しています。
●外部監査 ・ 内部監査を実施、 労務士、 産業医を配置し適正な組織運営を行っています。

危機管理に対する対応

●危機管理マニュアル、 感染症の対策マニュアルを整備。事故が発生しないことは前提ですが、 発生することを想定し、マニュアルに従い対応します。
●緊急時は夜間でも緊急連絡網でスタッフに情報を共有し対策を講じ、 実践します。

雇用に対する基本的な考え方

●20 代～ 60 代までの正社員 20 名及び、 3 名のパートに必要最低限なアルバイト（主催事業の監視業務等）で効率の良い人員の配置で管理業務を遂行します。
●障がい者の直接雇用はもとより、 就労支援を行う社会福祉法人等との連携による、 障がい者の活躍の場を可能な限り提供いたします。

より多くの市民が
アートセンターを利用し
また、ここに来たいと感じていただく…
そんな施設の運営を心がけます。

みやざき文化村